

「カーボン・オフセット都市ガス」の総称設定について

2024年9月2日

一般社団法人日本ガス協会

一般社団法人日本ガス協会（以下、当協会）は、2050年の都市ガスのカーボンニュートラル（以下、CN）実現に向けて様々な取り組みを進めています。その一環として、このたび、カーボン・クレジットを活用した都市ガスメニューである「カーボンニュートラル都市ガス*¹（以下、CN都市ガス）」の名称を、「カーボン・オフセット都市ガス」へと新たに設定しましたので、お知らせいたします。

1. 背景

都市ガス業界では、CN化に向けた取り組みとして、これまでのカーボン・クレジット活用の推進に加え、燃焼しても実質的に大気中のCO₂が増えないe-methaneやバイオガスの社会実装等、多様な道筋による都市ガスのCN実現に向けて取り組んでいます。

今般、地球温暖化対策の推進に関する法律（以下、温対法）の政省令が改正*²されたことを受け、ライフサイクル全体の温室効果ガスをオフセットした「CN都市ガス」についても、今後はガスのオフセット範囲や使用クレジット種に関する顧客ニーズに合わせて、メニューが多様化することが見込まれます。

そのため、従来の「CN都市ガス」という名称で定義された一定のカバー範囲だけでなく、カーボン・クレジットを活用した多様な都市ガスメニューに対応可能にすること、また各クレジットの特徴や環境価値を明示し商品の品質確保に努めることを通じて、カーボン・クレジットの活用を一層促進してまいります。

2. 名称の設定・運用方法の見直し

当協会では、カーボン・クレジットを活用した都市ガスメニューについて、多様なオフセット範囲や使用クレジット種をカバーできるよう再定義し、従来の「CN都市ガス」に代わるそれらの総称として、新たに「カーボン・オフセット都市ガス」という名称を設定しました。

あわせて、業界統一のガイドラインを見直し、オフセットの特徴に即した名称設定および情報提供を行うことでお客さまの誤解を回避すると共に、本ガイドラインを遵守する事業者に対する認証マークを新設することで品質の可視化を図る等、多様化する商品の信頼性・透明性の確保に取り組めます。

当協会は、これらの取り組みを通じ、我が国の2050年CNの実現に貢献してまいります。

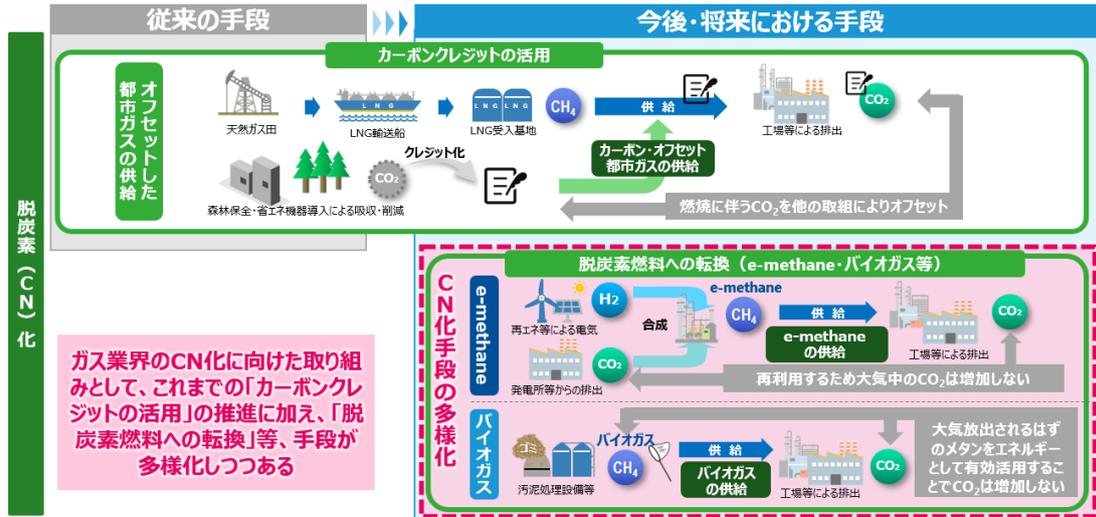
以上

お問い合わせ先：広報室（03-3502-0112）

*1：カーボンニュートラル都市ガスとは、天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程（ライフサイクル）で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されたCO₂クレジットで相殺すること（カーボン・オフセット）により、地球規模では、この天然ガスを使用してもCO₂が発生しないとみなされる都市ガスのこと。

*2：2024年度報告分（2023年度実績分）より、温対法に基づく温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度において、希望するガス事業者はカーボン・クレジットまたはバイオガスを用いて自らの供給するガスの排出係数を設定することが可能になりました。

(参考1) ガスのカーボンニュートラル化に向けた手段の多様化



(参考2) 「カーボン・オフセット都市ガス」の運用イメージ



(参考3) 「カーボン・オフセット都市ガス」認証マーク

